

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公表番号】特表 2006-512447 (P2006-512447A)

【公表日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報 2006-015

【出願番号】特願 2004-565117 (P2004-565117)

【国際特許分類】

**C 0 8 L 69/00 (2006.01)**

**C 0 8 G 64/18 (2006.01)**

C 0 8 L 71/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 G 64/18

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 71:02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 20 日 (2006.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物品の製造に有用な熱可塑性ポリマー成形用組成物であって、当該成形用組成物がポリオルガノシロキサン - ポリカーボネートブロックコポリマーと流動性向上剤を含んでなり、流動性向上剤がポリアルキレングリコール化合物及びポリアルキレングリコール化合物と重量平均分子量 1000 ~ 10000 の低重量平均分子量ポリカーボネートポリマーとの混合物からなる群から選択され、流動性向上剤の添加量が成形用組成物を物品に成形したときの表面欠陥を低減するのに有効な量である、成形用組成物。

【請求項 2】

当該成形用組成物がさらに 1 種以上の第二のポリカーボネートポリマーを含む、請求項 1 記載の成形用組成物。

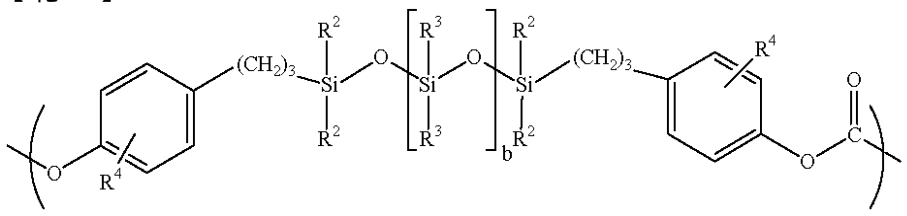
【請求項 3】

当該成形用組成物 100 部当たり 0.05 ~ 20 部の流動性向上剤を含む、請求項 1 記載の成形用組成物。

【請求項 4】

前記ポリオルガノシロキサン - ポリカーボネートブロックコポリマーが、次式のポリオルガノシロキサンプロック：

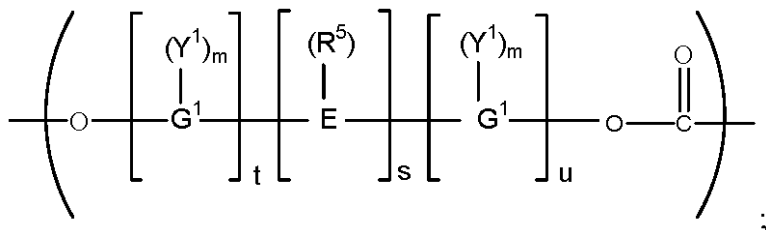
【化 1】



(式中、 $R^2$  及び  $R^3$  は各々独立に水素、ヒドロカルビル又はハロゲン置換ヒドロカルビル

であり、 $R^4$ は水素、ヒドロカルビル、ヒドロカルビルオキシ又はハロゲンであり、「 $b$ 」は30～70の値を有する整数である。)と次式のポリカーボネートブロック：

【化2】



(式中、 $G^1$ は芳香族基であり、Eはアルキレン、アルキリデン、脂環式基、含イオウ結合、含リン結合、エーテル結合、カルボニル基又は第三窒素基であり、 $R^5$ は水素又は一価炭化水素基であり、 $Y^1$ は水素、一価炭化水素基、アルケニル、アリル、ハロゲン、臭素、塩素、ニトロからなる群から選択され、「 $m$ 」は0から $G^1$ 上の置換可能な部位の数までの整数を表し、「 $n$ 」は0からE上の置換可能な部位の数までの整数を表し、「 $t$ 」は1以上の整数を表し、「 $s$ 」は0又は1であり、「 $u$ 」は0を含めた整数を表す。)とを含む、請求項1記載の成形用組成物。

【請求項5】

前記ポリオルガノシロキサン-ポリカーボネートブロックコポリマーが20000～80000の重量平均分子量を有する、請求項1記載の成形用組成物。

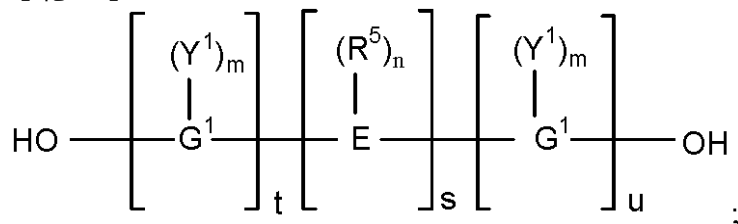
【請求項6】

前記1種以上の第二のポリカーボネートポリマーが20000～80000の重量平均分子量を有する、請求項2記載の成形用組成物。

【請求項7】

前記1種以上の第二のポリカーボネートポリマーが次式の1種以上のビスフェノールから誘導された構造単位を含む、請求項2記載の成形用組成物。

【化3】

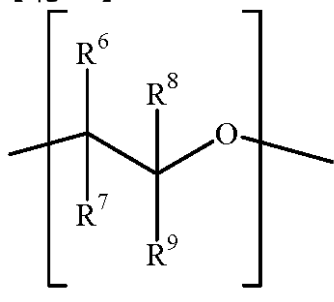


式中、 $G^1$ は芳香族基であり、Eはアルキレン、アルキリデン、脂環式基、含イオウ結合、含リン結合、エーテル結合、カルボニル基又は第三窒素基であり、 $R^5$ は水素又は一価炭化水素基であり、 $Y^1$ は水素、一価炭化水素基、アルケニル、アリル、ハロゲン、臭素、塩素、ニトロからなる群から選択され、「 $m$ 」は0から $G^1$ 上の置換可能な部位の数までの整数を表し、「 $n$ 」は0からE上の置換可能な部位の数までの整数を表し、「 $t$ 」は1以上の整数を表し、「 $s$ 」は0又は1であり、「 $u$ 」は0を含めた整数を表す。

【請求項8】

前記ポリアルキレングリコール化合物が、次式の繰返し単位及びOR<sup>10</sup>から選択される末端基を有する、請求項1記載の成形用組成物。

## 【化 4】



式中、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 及び $R^9$ は各々独立に水素又は $C_1 \sim C_4$ アルキル基を表し、 $R^{10}$ は水素、 $C_1 \sim C_4$ ヒドロカルビルである。

## 【請求項 9】

物品の製造に有用な熱可塑性ポリマー成形用組成物であって、当該成形用組成物各 100 部当たり、

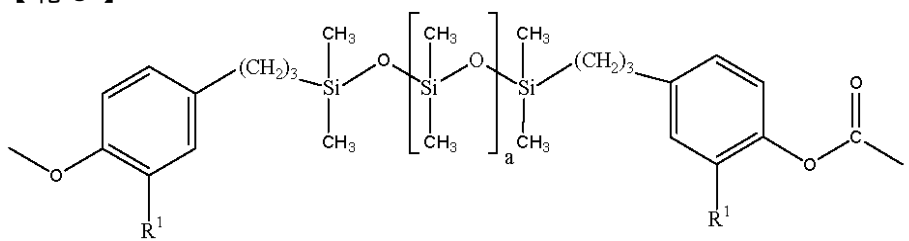
重量平均分子量 28000 ~ 32000 のポリオルガノシロキサン - ポリカーボネートブロックコポリマー、

重量平均分子量 30000 ~ 60000 のビスフェノール A ホモポリカーボネート、並びに

ポリアルキレングリコール化合物及びポリアルキレングリコール化合物と重量平均分子量 1000 ~ 10000 の低重量平均分子量ポリカーボネートポリマーとの混合物からなる群から選択される流動性向上剤 0.2 ~ 5 部

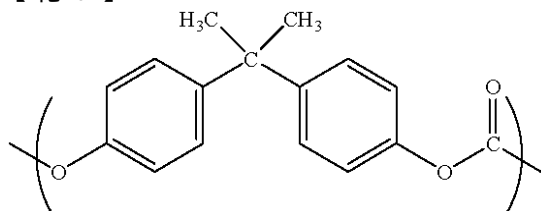
を含んでなり、ポリオルガノシロキサン - ポリカーボネートブロックコポリマーが、次式のポリオルガノシロキサンプロック：

## 【化 5】



( 式中、 $R^1$ は水素、メトキシ又はアリルであり、「 $a$ 」は 40 ~ 55 の値を有する整数である。 ) と次式のポリカーボネートブロック：

## 【化 6】



とを含む、成形用組成物。

## 【請求項 10】

請求項 1 乃至請求項 9 のいずれか 1 項記載の成形用組成物を成形してなる物品。